

サーベル DF Ally® 60 XP Herbicide

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : サーベル DF
Ally® 60 XP Herbicide

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : エフエムシー・ケミカルズ株式会社

住所 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番1号

電子メールアドレス : SDS-Info@fmc.com

緊急連絡電話番号 : 漏出、火災、流出、事故の緊急事態については、以下に電話してください。
045-224-4303 (HAZMAT Emergency Response Centre)

緊急連絡先:
03 5208 1010

担当部門 : 農業製品事業部

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き : 安全対策:

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

P273 環境への放出を避けること。

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報**成分**

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
メトスルフロンメチル	74223-64-6	60	

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに被災者を病院に連れて行く。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
牛乳やアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚に接触すると有害。
- 応急措置をする者の保護 : 吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|---|
| 適切な消火剤 | : 粉末消火剤
水噴霧
二酸化炭素 (CO2)
泡消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : 棒状注水を避ける |
| 特有の危険有害性 | : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 |
| 有害燃焼副産物 | : 火災により、刺激性、腐食性および/または有毒ガスが発生する可能性があります。
窒素酸化物 (NOx)
硫黄酸化物
炭素酸化物
シアン化水素 |
| 特有の消火方法 | : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
化学物質の火災に対する標準手順に従う。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消防士は保護服と自給式呼吸器を着用する必要があります。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 | : こぼれたものに触れたり、歩いたりしないでください。
安全に実行できる場合は、漏れを停止します。
保護具を使用する。
安全な場所に避難する。
粉塵の発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。
十分な換気を確保する。 |
| 環境に対する注意事項 | : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び
機材 | : 再利用するために流出物を元の容器に戻さないでください。
こぼれた物質を拾い上げ、粉塵を発生させずに適切にラベルが貼られた容器に移します。コンクリートやその他の非多孔 |

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

質表面に液体をこぼした場合は、少量の石鹼と水でそのエリアを掃除できます。洗浄液が排水管に入らないようにしてください。不活性吸収材を使用して洗浄液を吸収し、適切なラベルが貼られた容器に移します。流出が土壌上で発生した場合、その地域を除染する唯一の効果的な方法は、土壌の上部 5 ～ 7 センチメートルを除去することです。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。
- 安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避 : 強酸、強塩基、および酸化剤を避けてください。
- 衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
粉じんを吸入しないこと。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 混触禁止物質 : 酸の近くに保管しない。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明さ

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

れない限り、呼吸用保護具を着用すること。

フィルタータイプ : 微粒子用タイプ

手の保護具
材質 : バリアラミネート、ブチルゴム、ニトリルゴムなどの耐薬品性手袋を着用してください。

備考 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 微粒子不浸透性保護服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

保護対策 : この製品を使用する前に、応急措置方法を検討しておく。
救急箱とその使用説明書を、常備しておくこと。
作業場の近くに眼の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。
適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

形状 : 細粒

色 : 淡褐色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : 分解: 適合

可燃性(固体、気体) : この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : 非該当

自己発火性 : データなし

分解温度 : データなし

蒸発速度 : 非該当

自然発火温度 : データなし

粘度

粘度(粘性率) : 非該当

動粘度(動粘性率) : 非該当

溶解度

水溶性 : 分散性

n-オクタノール／水分配係数 : 非該当
(log 値)

密度及び／又は相対密度
比重

: 1.47 (25 - C)

密度 : データなし

相対ガス密度 : 非該当

爆発特性 : 非爆発性

酸化特性 : 非酸化性

表面張力 : 非該当

分子量 : 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

- | | |
|-----------|--|
| 化学的安定性 | : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 |
| 危険有害反応可能性 | : 粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 |
| 避けるべき条件 | : 極端な温度は避けてください。
粉塵の発生を避ける。 |
| 混触危険物質 | : 強酸、強塩基、および酸化剤を避けてください。 |

11. 有害性情報

急性毒性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

- | | |
|----------|---|
| 急性毒性（経口） | : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。 |
| 急性毒性（吸入） | : 備考: 吸入は想定される曝露経路ではない |
| 急性毒性（経皮） | : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
GLP: 適合
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。 |

成分:

メトスルフロンメチル:

- | | |
|----------|--|
| 急性毒性（経口） | : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: US EPA 検査ガイドライン OPP 81-1 |
| 急性毒性（吸入） | : LC50 (ラット): > 5.3 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/ミスト
方法: US EPA 試験ガイドライン OPPTS 870.1300
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。 |
| 急性毒性（経皮） | : LD50 (ウサギ, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: US EPA 試験ガイドライン OPP 81-2 |

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

皮膚腐食性／刺激性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし
GLP	: 適合

成分:

メトスルフロンメチル:

種	: ウサギ
方法	: US EPA 試験ガイドライン OPP 81-5
結果	: 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405
GLP	: 適合

成分:

メトスルフロンメチル:

種	: ウサギ
結果	: 僅かな刺激
方法	: EPA OPP 81-4

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

製品:

試験タイプ	: ビューラー法
種	: モルモット
方法	: US EPA 試験ガイドライン OPPTS 870.2600
結果	: 動物実験では、皮膚の接触による感作性を示さなかった。
GLP	: 適合

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

成分:**メトスルフロンメチル:**

試験タイプ	: マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: モルモット
方法	: US EPA 試験ガイドライン OPPTS 870.2600
結果	: 皮膚感作物質ではない

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分:**メトスルフロンメチル:**

in vitro での遺伝毒性	: 試験タイプ: Ames 試験 代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在 結果: 陰性
-----------------	---

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験 代謝活性化: 代謝活性化 結果: 陽性

in vivo での遺伝毒性	: 試験タイプ: 小核試験 種: マウス 結果: 陰性
----------------	-----------------------------------

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

成分:**メトスルフロンメチル:**

種	: ラット, オスおよびメス
曝露時間	: 104 週
NOAEL	: 500 ppm
結果	: 陰性

種	: マウス, オスおよびメス
曝露時間	: 18 カ月
NOAEL	: 5,000 ppm
結果	: 陰性

発がん性 - アセスメント : 動物実験では発がん性への影響は見られなかった。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

成分:

メトスルフロンメチル:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世世代試験
種: ラット, オスおよびメス
投与経路: 経口
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ウサギ, メス
投与経路: 経口
症状: 母体への影響。
結果: 陰性

試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット, メス
投与経路: 経口
症状: 母体への影響。
結果: 陰性

生殖毒性 - アセスメント : 証拠の重要性からすると、生殖毒性性物質として分類されない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。

反復投与毒性

成分:

メトスルフロンメチル:

種 : ラット, オスおよびメス
NOEL : 1000 ppm
投与経路 : 経口 - 混餌
曝露時間 : 90 days
症状 : 体重減少

誤えん有害性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品:

吸引性呼吸器有害性には分類されていない

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

神経毒性**成分:****メトスルフロンメチル:**

動物実験では神経毒性は観察されませんでした。

詳細情報**製品:**

備考 : データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:****メトスルフロンメチル:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 113 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 120 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Lemna minor (コウキクサ)): 0.16 µg/l
曝露時間: 14 d

ErC50 (Anabaena flos-aquae (シアノバクテリア)): 0.1134 mg/l
曝露時間: 72 h

IC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 0.045 mg/l
曝露時間: 72 h

ErC50 (Myriophyllum spicatum): 0.23 µg/l

ErC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)): 0.57 µg/l

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 68 mg/l
曝露時間: 21 d

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.5 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害 : 100
性 長期 (慢性))

土中生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Eisenia fetida (ミミズ)): 6 mg/kg
曝露時間: 56 d

地上生物に対する毒性 : LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/ハチ
エンドポイント: 急性毒性 (接触)

LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 91.72 µg/ハチ
エンドポイント: 急性毒性 (経口)

LD50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): > 2,510 mg/kg

残留性・分解性

成分:

メトスルフロンメチル:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
備考: 一次分解の半減期は状況によって異なりますが、好気性の土壌や水中では数週間から数か月です。

生体蓄積性

成分:

メトスルフロンメチル:

生体蓄積性 : 種: Lepomis macrochirus (ブルーギル)
生物濃縮因子 (BCF) : < 1
曝露時間: 28 d
備考: 生物濃縮されない。

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.7 (25 - C)
(log 値) pH: 7

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- 残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
- 汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

- 国連番号 (UN number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.
(Metsulfuron-methyl)
国連分類 (Class) : 9
副次危険性 (Subsidiary risk) : ENVIRONM.
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9 (ENVIRONM.)
環境有害性 : 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

- UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s.
(Metsulfuron-methyl)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : その他
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 956
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 956
環境有害性 : 該当

海上輸送 (IMDG-Code)

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

国連番号 (UN number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Metsulfuron-methyl)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 該当
(Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

版番号 1.1	改訂日: 2023/11/01	整理番号: 50001047	前回改訂日:- 初回作成日: 2018/05/01
------------	--------------------	-------------------	------------------------------

TCSI	: インベントリに収載されている、または準拠している
TSCA	: TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
AIIC	: インベントリに従わない
DSL	: この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。 74223-64-6
ENCS	: インベントリに従わない
ISHL	: インベントリに従わない
KECI	: インベントリに従わない
PICCS	: インベントリに従わない
IECSC	: インベントリに収載されている、または準拠している
NZIoC	: インベントリに従わない
TECI	: インベントリに従わない

16. その他の情報

中毒の緊急問合わせ先: (公財) 日本中毒情報センター 中毒 110 番

一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料) 365 日 24 時間対応
(つくば) 029-852-9999 (情報料無料) 365 日 24 時間対応

医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (一件 2000 円) 365 日 24 時間対応
(つくば) 029-851-9999 (一件 2000 円) 365 日 24 時間対応

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.1	2023/11/01	50001047	初回作成日: 2018/05/01

(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

免責条項

FMC Corporation は、本書に含まれる情報および推奨事項 (データおよび記述を含む) は、本書の日付時点において正確であると考えています。FMC Corporation に連絡し、本書が FMC Corporation から入手可能な最新情報であることを確認してください。ここで提供される情報に関して、明示または黙示を問わず、特定の目的への適合性、商品性の保証、またはその他の保証は一切行われません。ここで提供される情報は、指定された特定の製品にのみ関連するものであり、その製品が他の素材と組み合わせて、または任意の手順で使用される場合は適用されない場合があります。使用者は、製品が特定の目的に適合し、使用者の使用条件と使用方法に適しているかどうかを判断する責任があります。使用者の使用条件および使用方法は FMC Corporation の管理が及ばない範囲にあるため、FMC Corporation は、製品の使用または製品情報への依存から得られた、または生じた結果に関して、一切の責任を負わないものとします。

JP / JA